

中部リーグ競技運営マニュアル

会場の借用、準備、後始末を協力しあって、お互い気持ち良くプレー出来るリーグにしましょう。

〈1〉会場準備

- ◎午後7時半までに、体育館を開鍵する(東伯総合体育館は不要)
(コート準備は、試合参加チームで行なう)
- ◎アンテナ、ネット、得点掲示板を準備
(ボール・アンテナは中部連盟所有品を利用する、ホイッスルは各チームで準備する)

〈2〉会場責任チームの役割(聖郷小学校)

- ◎8:00までに試合参加チームの監督又はキャプテンを召集し、集合状況を確認する
(棄権チームの有無・不揃いのチームがある場合は現在時刻の宣言・周知をすること)
- ◎8:00までに中部連盟所有の電動空気入れでボールを準備
- ◎審判チームにスコアシートを渡し、試合終了後に携帯サイトへ結果を送信する

〈3〉審判チームの役割

- ◎8:00第1試合審判チームは試合チームキャプテンを集め、トス(ジャンケン)により、サーブ及びコートを決定する。(オーダー用紙を副審へ提出する)
- ◎両チームで3分間のラリーによる公式練習を行なう。
(副審は時間計測及び、ボール、記録用紙、筆記用具の確認)
- ◎公式練習終了後、プレーヤーをコートエンドラインに整列させて審判台の前でネットをはさみ、右側に主審、左側に副審が位置し、ホイッスルにより互いに握手する。
- ◎スターティングメンバーのポジション、ゲームキャプテンを確認した後、試合を開始する。
- ◎各セット間のインターバルは、1分30秒とする。(試合が遅れている場合は短くする)
- ◎1対1の後の第3セットは第2セット終了後、選手をベンチに引き上げさせて両チームのキャプテンが再度トス(ジャンケン)をしてサーブまたはコートを選択する。
- ◎試合終了時は互いのチーム全員をエンドラインに整列させ、ホイッスルにより握手をさせる。
- ◎第2試合目は第1試合終了5分後に開始する。(試合が遅れている場合は短くする)

〈4〉その他

- ◎第一試合前のチームの点呼時間について
東中・聖郷小……………20時 東伯総合体育館他……………19時30分
- ◎第一試合のプロトコール時間について(チーム点呼後ただちに開始する)
東中・聖郷小……………20時00分 東伯総合体育館他……………19時30分
- ◎没収試合とは
第一試合公式練習後、エンドラインに選手が整列時に5人以上(男女ともに2名以上)集まらない。審判チームであっても試合をするチームと条件は同じで、当日の全試合が棄権扱いとなる。整列をした時にチーム同士で審判チームも含めてお互いに確認しあう。
- ◎第二試合目以降の途中参加について
チームとして第一試合前の召集人数に問題が無ければ第二試合目以降の参加が認められる。
- ◎試合開始後に男性が不慮のけがで試合に参加できない場合は代わりに女性の参加を認める女性がけがをした場合は代わりに男性の参加は認められない。
- ◎没収試合が発生した場合、次の試合は没収試合確定5分後にプロトコール開始とする。
- ◎第一試合前の各チーム召集確認は会場責任チームが行い、それ以降の召集確認は担当試合の主審がおこなう。
- ◎会場の後始末は各コート別に、使用チームが片付けを行なう。
- ◎オーダー表は副審が持ち、ラインズマンには持たせないこと。
副審が持たない場合は、別の人副審のそばでオーダー表を持ち副審の補助をすること。
- ◎試合が時間切れで終了しなかった場合は、ナイター期間中空いている会場で再試合を行う。期間終了後は倉吉東中体育館の予定で、時間切れ試合は無効試合とし、1セット目からゲームを行い審判チームも参加する。